

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	郡司 紀子
グ ル ー プ 名	ナースレクチャー
結 成 年 月 日	令和 2年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	専門職業人として主体性・自立性を持ち、看護実践能力を高め 質の高い看護サービスを提供できる人材を育成する 研修会・学会などに参加し療育に関する知識を深める
数 値 目 標 の 設 定	各棟OJT研修を1つ以上企画し、現場での実践力・看護を深める 看護科研修会の3回以上/年の開催 院外研修に各部署1名以上参加し伝達講習を行い知識を共有できる
参加方法	看護科教育委員会で年間教育プログラムを作成し、教育委員 を通じてカリキュラムを配布し参加する
グ ル ー プ の P R	障害の看護は個別的なケアを必要とし、医療的ケアから 日常生活援助、家族看護まで多岐にわたるので色々な資料や研修 参加などで視野を広げ看護の質の向上に役立てたい。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	鳥越 清之
グ ル ー プ 名	SS(ショートステイ)利用者の安全で快適な環境をつくる会 (SS会)
結 成 年 月 日	令和 2年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	安全で快適な環境が提供できるよう、必要な環境補助具を検討する 利用者それぞれの安全で快適な環境とは何か、在宅看護について 理解を深めることで、利用者及び家族のニーズ充足につなげる
数 値 目 標 の 設 定	前年度購入した見守りカメラの利用頻度、利便性について 職員・利用者家族より聞き取り、評価を行う (3回/年) 利用者の「快適な環境」にあたる新しい取り組みを2つ以上提案する
参加方法	SSに関わる全ての職員が、自由に意見提案し、参加でき るようにする
グ ル ー プ の P R	職種問わず、SS利用者サービス向上に向けてのアイデアや ご意見をいつでも受け付け致します。

代 表 者 所 属 施 設	総合療育センターにここに通園 TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	小山 歩
グ ル ー プ 名	スキルアップ研修
結 成 年 月 日	令和 8年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ハイテク機器や応用行動分析学など専門職としての知識や技術を学び、保育士・指導員の質の向上を目指す。通園で行っている遊び・取り組みの基礎のみならず応用方法も研究し、日々の保育で実施する。
数 値 目 標 の 設 定	学んだスキルを用いた保育を月1回以上実践する
参 加 方 法	総合療育センターにここに通園へ電話連絡にて申し込み
グ ル ー プ の P R	にここに通園では、さまざまな特性を持ったお子さんを受け入れており、子ども達だけではなく、日々保護者への指導も行っている。専門職として必要な知識や保育活動に生かせる技術の向上を全会員で学ぶことができる。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	宮崎 尚美
グ ル ー プ 名	重心認定看護師会
結 成 年 月 日	令和 3年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	1. 重心認定看護師の資格維持、更新 2. スタッフのキャリアデザインとなる
数 値 目 標 の 設 定	重心、小児、医療的ケア児に関する研修に各自2回以上参加 参加した研修の報告会をグループ内で2回以上行う
参 加 方 法	代表者 地域支援室 宮崎までご連絡ください
グ ル ー プ の P R	重症児者の方々の毎日が安全で楽しく過ごせること、スタッフが協働しあえること、そして魅力ある重症児看護を伝え後輩を育成していくことが私たちの使命です。これから、施設内外で重症児看護のノウハウを伝える活動を行っていきたいと思っています。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター生活介護事業ナイスデイ TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	三好 綾子
グ ル ー プ 名	生活介護事業 質の向上勉強会
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	専門職としての知識や技術を学び、保育士・指導員の質の向上を目指す。スタッフ自らが主体的に日々の活動や支援方法について試行錯誤し研究する。
数 値 目 標 の 設 定	・月1回勉強会を実施する。
参 加 方 法	電話にて連絡ください
グ ル ー プ の P R	主として重症心身障害に関わる支援の基礎を学びます。

代 表 者 所 属 施 設	総合療育センター指導科生活指導係 TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	山口 のぞみ
グ ル ー プ 名	利用者の余暇支援を考える会
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	・利用者のニーズに合わせた余暇活動のバリエーションを増やす ・環境設定や個別支援について勉強会を通じて検討する ・職員の特技を生かした活動報告、勉強会を実施する
数 値 目 標 の 設 定	講師を招いて、研修会を実施する。また、重症心身障害療育学会学術集会にて演題発表を行う。
参 加 方 法	総合療育センター生活指導係、山口までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	肢体不自由施設及び療養介護施設における利用者支援の在り方を検討してきた。これは、他事業所での支援にも通じると考える。利用者主体・社会参加をテーマに取り組む。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL 093-922-5596
代 表 者 氏 名	原 慎一
グ ル ー プ 名	臨床検査研修会
結 成 年 月 日	令和 5 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	今年度も、検体検査部門の研修に力を注ぎたいと考えています。 生化学、血液、一般、輸血、免疫と幅広いですが、広い分野で知見を広げ、臨床へと役立てていきたいと思ひます。
数 値 目 標 の 設 定	外部研修会に毎月2回以上参加。
参 加 方 法	総合療育センター医療支援科臨床検査係、原までご連絡ください。
グ ル ー プ の P R	検査室のスタッフ全員が知識と技術を出し合い、お互いにスキルアップすることで「どこよりも正確どこよりも頼りになる検査室」を、みんなでつくっていきます。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (922) 5596
代 表 者 氏 名	中村 愛子
グ ル ー プ 名	メーブルツリー
結 成 年 月 日	令和 7年 5月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	感覚統合療法についての新しい情報の確認、臨床的な評価技能や介入技能について知見を深める。
数 値 目 標 の 設 定	月に1回集まって勉強会を開催する。 (勉強会で得た知見は日々の臨床業務で活用する。)
参 加 方 法	現地参加(オンラインなし) 場所は総合療育センター訓練室
グ ル ー プ の P R	子どもの「できた!」や「もっとやりたい!」という気持ちを支えていけるよう、感覚統合の視点から勉強をしています。 ご興味のある方は、お気軽にお問合せください。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	河村好香
グ ル ー プ 名	研究デザイン学習会
結 成 年 月 日	令和 5年 11月15日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	多職種連携により質の高い研究を行うこと、多職種参加の利点を 生かし臨床研究研究を行うことで医療・福祉分野の発展に努める。
数 値 目 標 の 設 定	年度内に研究課題を3件以上具体案を挙げる 年に3回以上の勉強会を開催
参加方法	代表者または各メンバーへお問い合わせください
グ ル ー プ の P R	研究の立案に欠かせない「研究デザイン」について意見を出し合い、互いに学び合う 会です。質問や発言を歓迎する雰囲気づくりを大切に、活発な対話を通じて 有益な情報を共有し、研究の実施を目指しています。

代 表 者 所 属 施 設	総合療育センターにここ通園 TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	中原 可奈
グ ル ー プ 名	北九州INREAL研究会
結 成 年 月 日	令和8年5月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ことばの発達や、やりとりに問題をもつ子どもや大人に対する コミュニケーションアプローチである「インリアル・アプローチ」 についての研修
数 値 目 標 の 設 定	得られたスキルを用いた関わりを通園時間の中で、1人の子どもに対して2回 以上は実践する。保護者と話す際、保護者に伝わりやすい話し方を2回以上 は実践する。
参加方法	総合療育センターにここ通園まで、電話連絡にて参加する
グ ル ー プ の P R	子どもはもちろん保護者の方もやりとりが難しい方がいるかと思います。 目の前の方に合わせた関わりができるよう、自分を振り返りながらことばか けのコツや表現の仕方等、スキルアップを目指します。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター TEL (093) 922-5596
代 表 者 氏 名	北村 玲子
グ ル ー プ 名	コンチネンスケア研究会
結 成 年 月 日	令和 8年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	日本コンチネンス協会の研修を活用しながら、排泄ケアに関する知識・技術を学び、利用者の快適性と尊厳を守るケアの向上を目指す
数 値 目 標 の 設 定	日本コンチネンス協会研修参加：年2回以上 院内グループ勉強会：年3回以上 排泄ケア・自己導尿に関する事例検討会：月1回
参加方法	利用者に関わる全ての職員が、自由に意見提案し、参加できるようにする
グ ル ー プ の PR	すべての人が気持ちよく排泄できるための取り組み＝コンチネンス ケアに関心のある方は、一緒に楽しく勉強しましょう 職種は問いません

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立総合療育センター西部分所 TEL (093) -632-3600
代 表 者 氏 名	山口 早帆
グ ル ー プ 名	福祉用具研究会
結 成 年 月 日	令和8年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	3Dプリンターを用いた福祉用具の作製の知識・技術を習得する。 利用者様のニーズに合わせた用具の作製を行う。 スイッチなどの設定・活用方法を検討していく。
数 値 目 標 の 設 定	得られたスキルを用いた福祉用具を5回以上行う
参加方法	代表者（山口）にご連絡ください。 ご連絡は、西部分所まで。
グ ル ー プ の PR	外部講師の指導の下、実際に福祉用具を作成し、事例検討を行っていく。 九州工業大学の研究として現在3Dプリンターを借りており、 作製手順やCADなどの操作を所内で習得していく。

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL (093) 601-2261
代 表 者 氏 名	古川 聖恵
グ ル ー プ 名	地域支援で余暇支援を考える会
結 成 年 月 日	令和 8年 5月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	障害のある児童の余暇活動について研鑽を深め、具体的な余暇支援の取り組みを通して、児童の興味や関心、発達段階に合わせた余暇支援の在り方を検討していく。
数 値 目 標 の 設 定	研修で得た知識を用いた余暇活動を3回以上行う。
参 加 方 法	研修は直接参加。余暇具は協議して代表者が購入する。 参加したい方は小池学園放課後等デイ古川まで601-2261
グ ル ー プ の P R	児童たちがより楽しく過ごすことができるような余暇活動について更に知識を深め、実践につながるような研修を行う予定。

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL093- (601) -2261
代 表 者 氏 名	野依恵都子
グ ル ー プ 名	余暇を考える会
結 成 年 月 日	令和 8 年 4 月 16 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	余暇活動の充実を図り、利用者の情緒安定及び不適応行動の軽減に繋がる環境調整について検討・実施する。また、個々の特性に応じた余暇支援を通して、生活の質（QOL）の向上を図ることを目的とする。
数 値 目 標 の 設 定	年度に3回以上余暇を考える会としての話し合いを行う。
参 加 方 法	参加したい方は児童係 野依 または児童係長 岡 まで 小池学園代表電話：093-601-2261
グ ル ー プ の P R	一人ひとりの特性や興味関心に応じた余暇活動を充実させることで、情緒の安定や不適応行動の軽減を目指す取り組みです。 「楽しい」だけでなく、自己選択や成功体験、安心して過ごせる環境作りを通して、生活の質（QOL）の向上や社会性の育成につなげます。

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL (093) 601-2261
代 表 者 氏 名	高野 昭典
グ ル ー プ 名	意思決定支援を考える会
結 成 年 月 日	令和 8 年 4 月 16 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	利用者一人ひとりの気持ちに寄り添い、その方に合った選択を職員と一緒に考えていけるような支援を目指して、意思決定支援の基本を学んでいく。
数 値 目 標 の 設 定	研修内容及び購入した書籍等から得られた知識を用いて意思決定支援についての話しあいを半期で2回以上行い支援につなげていく。
参加方法	参加したい方は児童係 高野 または児童係長 岡 まで 小池学園代表電話：093-601-2261
グ ル ー プ の P R	利用者の思いや大切にしたい事に寄り添いながら誰もが安心して意思決定できるような支援を目指します。

代 表 者 所 属 施 設	小池学園 TEL (093) 601-2261
代 表 者 氏 名	長野 美優
グ ル ー プ 名	子どもの支援を考える会
結 成 年 月 日	令和 8 年 5 月 7 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	様々な障害特性や行動特性を持つ児童について、講師の勉強会で職員側が知識やスキルを得ながら、支援を検討、実践していく。 また、職員側のスキルアップ、利用者の課題克服等につなげる。
数 値 目 標 の 設 定	講師の勉強会で学んだ支援方法を対象児童に実践し、3か月に1回会議等で報告・検討を行う。
参加方法	参加したい方は児童係 長野 または児童係長 岡 まで 小池学園代表電話：093-601-2261
グ ル ー プ の P R	これまで培ってきた知識やスキルを活かしつつ、勉強会で得た新しい学びを子どもたちへ還元できるよう活動していきます。

代 表 者 所 属 施 設	障害者支援施設ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	鈴木美代子
グ ル ー プ 名	あくていのレクリエーションを考える会
結 成 年 月 日	令和 7 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	生活介護事業所「あくてい」にて、知的障害者が過ごしやすい 環境づくりや様々な活動を提供し、ご利用者の高齢化に伴い、 機能維持も目的としながら、生活の質の向上を目指す。
数 値 目 標 の 設 定	季節毎に季節を感じ取れる環境作りを行う。 製作したものを定期的に展示する。
参 加 方 法	生活介護の時間帯で参加希望のご利用者構成員で参加する。参 加希望者はひよりの丘代表/鈴木まで
グ ル ー プ の P R	ご利用者が落ち着いて過ごせる環境を提供し、豊かな時間を過 してもらえようレクリエーションの内容を検討し提供します。

代 表 者 所 属 施 設	障害者支援施設 ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	葛下 花子
グ ル ー プ 名	豊かな生活を送るために～利用者の生き方を考える～
結 成 年 月 日	令和 7 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	支援第2係グループホームはご利用者の高齢化が進み、60～ 70代のご利用者が半数近くを占めている。同時に10代のご利 用者も新たに 入居し、幅広い年齢層の方々が生活をしてい る。これからの残りの人生を、これからの長い人生を実りある 時間を過ごせるよう考え支援していく。
数 値 目 標 の 設 定	年に数回、ご利用者への余暇活動の提供について話し合いをす る。それを基に余暇活動の提供を行う。
参 加 方 法	生活介護及び共同生活援助の時間帯で参加希望のご利用者構成 員で参加する。参加希望者はひよりの丘代表/葛下まで
グ ル ー プ の P R	ご利用者がその人らしく生活できるよう、より豊かな生活を送 れるよう、実りある人生を生きるために、私たちができること を考え、ご利用者の生活を支えていきます。

代 表 者 所 属 施 設	ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	古川 香奈江
グ ル ー プ 名	居住施設の中で豊かな生活を考える会
結 成 年 月 日	平成 18年 4月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	講師推奨の遊び方や玩具を通じ、遊びを届ける技を磨き、支援員の抱える疑問を解決する、実践型の研究に取り組む。
数 値 目 標 の 設 定	利用者一人ひとりの「遊び」の好みを記録し、全員分ファイル化する。
参 加 方 法	日中活動時間を利用し、遊びの提供と観察を行う。 事前に活動内容と日取りを確認後、参加可能。
グ ル ー プ の P R	昨年学んだ「遊び」は最高の支援技術。職員が楽しみ、利用者が輝く、その理想を現実にするための第二弾。あの日、私たちが「本気で遊んだ日」の喜びを現場に持ち帰る。

代 表 者 所 属 施 設	ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	樋口 順子
グ ル ー プ 名	ミュージックケア研究会
結 成 年 月 日	令和7年4月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	ひよりの丘の利用者に対し、加賀谷式音楽療法ミュージック・ケアを実践し、利用者の生きがいや豊かな生活を提供することを目指すとともに、支援員の技術の向上を図る。
数 値 目 標 の 設 定	ミュージックケア初級研修への参加 年5回程度の実践研修
参 加 方 法	生活介護時間帯に利用者、構成員でセッションに参加する。 参加されたい方は、ひよりの丘 代表者/樋口までご連絡下さい。
グ ル ー プ の P R	昨年度、加賀谷式音楽療法を用い、生活介護時間帯で実りある活動を提供してきたが、今年度は初級研修に参加し、さらにスキルアップを目指していく。また、利用者の機能訓練にも繋がる動作があり、ADLの維持を意識しながら個々の技術向上を楽しみながら目指したい。

代 表 者 所 属 施 設	ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	吉松 由紀子
グ ル ー プ 名	施設生活の中でのリラクゼーションを考える会
結 成 年 月 日	令和8年4月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	支援員がリラクゼーションの技法を学び、「心地いい」「気持ちいい」などの利用者の「快」の感情を引き出し、利用者の豊かな生活を目指す。
数 値 目 標 の 設 定	外部講師・また支援員間での実践練習を含めての勉強会を年3～4回程度実施する。主に生活介護時間帯にて利用者にリラクゼーションを主とした活動を提供する。
参 加 方 法	生活介護時間帯に実施。内容と日程を確認後、参加可能。
グ ル ー プ の P R	今年度新しくグループを立ち上げました。重度・高齢化するひよりの丘の利用者が、施設生活の中でもより快適に過ごしていただけるように取り組んでいきます。

代 表 者 所 属 施 設	障害者支援施設ひよりの丘 TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	世良 凌加
グ ル ー プ 名	おむつフィット研究会
結 成 年 月 日	令和 8 年 4 月 1 日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	排泄ケアの質の向上に向けた、利用者一人ひとりの身体状況や生活リズムに合わせたおむつ・パッドの装着技術の研究
数 値 目 標 の 設 定	・尿量や生活リズムに合わせた適切なおむつ・パッドの着用方法の習得。 ・夜間の吸収量を最適化し、パッド交換の為の不必要な覚醒を最小限にして睡眠時間を確保する。
参 加 方 法	興味のある方は、ひよりの丘代表/世良まで
グ ル ー プ の P R	・排泄ケアから利用者のQOLを変えることを目的として、睡眠状況や排尿量などから適切なおむつやパッドを選択、着用を目指します。

代 表 者 所 属 施 設	ひよりの丘	TEL (093) 619-0010
代 表 者 氏 名	菊田 菜由	
グ ル ー プ 名	暮らし向上ものづくり自主研	
結 成 年 月 日	令和8年 5月 10日	
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	主体的活動で生産物を創造し暮らしのQOL向上を目的とし「できる事を・したいときに・したい分」アート活動に取り組み利用者主体と構成員で作品を作り上げます本年度はひよりの施設内の作品コーナーに掲示・ひよりの丘に掲示することで利用者の活動意欲維持・PRの為保護者に向けを目標にする。	
数 値 目 標 の 設 定	10月に向けてカレンダー製作・ステッカー製作し提示する。 家族に向けたPRは作品コーナーを活用する。	
参 加 方 法	活動日や余暇時間に活動の場を設ける。事前に活動スケジュールを掲示するため該当日に参加する。もしくは日中活動支援員や担当まで一報入れる。	
グ ル ー プ の P R	利用者の取り組んだ活動が1つの作品として視覚化し触れられる場所や外部への発信ツールとして活用する事で生産性のある活動参加意欲の向上・維持を目標とする。 保護者や外部の方へ施設のストロングポイントとしてPRできる。	

代 表 者 所 属 施 設	引野ひまわり学園	TEL (093) 621-0015
代 表 者 氏 名	武田 絢香	
グ ル ー プ 名	こども発達支援勉強会	
結 成 年 月 日	令和 5年 4月 5日	
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	発達障害の特性、SST、応用行動分析、TEACCHプログラム、ペアトレ、保護者支援など幼児期に必要な支援のスキルを学び身に付けることを目指す	
数 値 目 標 の 設 定	講義や事例検討で講師から教わったスキルを次回の勉強会までに2回以上実践する	
参 加 方 法	講義や療育について学び理解を深め実践に繋がります。 療育について学びたい、支援について相談したい方は誰でも参加可能です。参加希望の方は引野ひまわり学園の武田までご連絡ください。	
グ ル ー プ の P R	幼児期の療育について基礎から将来を見据えた応用まで幅広く学ぶことができます。職種や経験年数など参加条件はありません。療育について学びたい、支援について相談したい方は誰でも参加可能です。また、途中参加・退出ができるため、ライフスタイルに合わせて気軽に参加ができます！	

代 表 者 所 属 施 設	若松ひまわり学園	TEL (093-751-2719)
代 表 者 氏 名	上田 有希子	
グ ル ー プ 名	発達支援勉強会	
結 成 年 月 日	令和 7年 4月 1日	
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	講師（花田栄子先生）を招いて、発達障害を有する子どもの支援について学び、日々の支援に生かす。	
数 値 目 標 の 設 定	講義を受け知識を高める。また、事例検討会を実施後は、日々の療育の中で2回以上実践し、結果を次の検討会で報告する。	
参 加 方 法	若松ひまわり学園にて講義を受ける。また、事例検討会を実施し理解を深める。	
グ ル ー プ の P R	若松ひまわりの指導に関わる全職員が自主勉強会への参加を希望している。園内研修に加え、この自主勉強会で、更に知識を高められるものと思う。	

代 表 者 所 属 施 設	到津ひまわり学園	TEL (093) 592-4739
代 表 者 氏 名	今村 真陽	
グ ル ー プ 名	スキルアップ勉強会	
結 成 年 月 日	令和 8年 5月 1日	
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	職員のスキルアップを目的に、障害のある子どもの保護者支援や子どもへの対応、ケース検討、最新の発達障害を巡る動向などの研修や必要に応じて外部講師を招きます。	
数 値 目 標 の 設 定	2か月に1回のペースで開催をしていきます。 職員の6名以上の参加をしてもらえるように勉強内容を検討していきます。	
参 加 方 法	勉強会の内容や、年間予定を回覧し、到津ひまわり学園の参加職員を募っています。	
グ ル ー プ の P R	日々の保育に役立つ知識や支援方法を増やしていくことができます。 “どう対応していけばいいかわからない”という気持ちを講師の先生や職員間で気軽に悩みを相談できる環境です。	

代 表 者 所 属 施 設	かざし園 TEL (093) 391-5080
代 表 者 氏 名	柴田 香織
グ ル ー プ 名	資格取得受験対策勉強会
結 成 年 月 日	平成 28年 2月 1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	介護支援専門員、介護福祉士等資格取得を目指す職員の勉強会
数 値 目 標 の 設 定	資格取得合格率50%以上を目指す
参加方法	かざし園事務室（093-391-5080）までお問合せください。
グ ル ー プ の PR	ご利用者やご家族、市民の皆様により満足していただけるよう 提供するサービスの質を向上するため、職員相互に研鑽し、 業務に関連する公的資格の取得を目指します。

代 表 者 所 属 施 設	北九州市立長浜児童館 TEL (093) 551-4010
代 表 者 氏 名	岩本 友香
グ ル ー プ 名	じどうかん60
結 成 年 月 日	令和8年4月1日
研 修 ・ 研 究 テ ー マ	児童館の歴史を辿りながら、将来の児童館について考えていく。 児童館の過去・未来の理解を深め、児童厚生員のスキルアップ を目指し、児童館での実践活動に活用することを目的にする。
数 値 目 標 の 設 定	この自主企画研修で学んだ内容を、各自館で活かした取り組みを 5回以上行う (例) 得られたスキルを用いた保育を〇回以上行う
参加方法	日程・プログラムを組み、他館への告知をする。 参加希望者は申し出る。
グ ル ー プ の PR	児童館設立から現在に至るまでの歴史をご存知ですか？ 児童館の過去を知った上でこれからの未来を想像し、今私たちにできること やるべきことは何かを考え、実践していけるよう一緒に学んでいきましょう